

長崎県の「いま」を伝える広報誌

つたえる県 ながさき

TSU TA E RU KEN・NAGA SAKI

2025

令和7年

12

vol.116

P2

地域特集

kon-ne五島

P4

県政特集

ふるさとの長崎へ。
長崎をふるさとに。

～移住で始める新生活～

今月の読者プレゼントはコチラ!

読者プレゼント

30
名様

五島銘菓 治安孝行
(3種詰め合わせ)

詳しくはP15をご覧ください。



長崎県

県のウェブサイトに
音訳版を掲載して
います



文化をみんなに



ながさきピース 文化祭2025

第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭

9月14日(日)→11月30日(日)

9月14日に幕を開けた全国規模の文化の祭典「ながさきピース文化祭2025(第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭)」は、11月30日にベネックス長崎ブリックホール(長崎市茂里町)で行う「閉会式」をもって幕を閉じます。

これまで県内各地で地域の特色ある文化芸術のイベントやさまざまな分野の全国大会など、多彩なイベントを開催し、県内外から訪れた皆さんに文化芸術に触れていただき、長崎県の文化の魅力を発信することができました。

この文化祭を機に、これからも一層の文化芸術の振興に取り組んでいきます!たくさんのご参加、ありがとうございました!



問合せ 長崎県実行委員会事務局(県のながさきピース文化祭課内) ☎ 095-895-2765

つたえる県
ながさき

vol.116 2025年12月号
(発行) 長崎県広報課
〒850-8570(住所不問)
☎095-824-1111
(デザイン) 株式会社 長崎新聞社



UD
FONT



アコウの木と共に ゲストをおもてなし



五島市小泊町
あこうハウス オーナー
サットン・ニコラスさん



五島市の福江島南部に位置する大浜地区小泊町。アメリカ出身のサットン・ニコラスさんは、この地で宿泊施設「あこうハウス」を営んでいます。敷地にはサットンさんが伐採の危機から救ったアコウの木が枝を広げ、ゲストを出迎えています。

同市出身の妻との結婚を機に9年前に移住したサットンさん。自然豊かな五島をすぐに気に入りました。アコウの木は移住後に始めた英会話教室と自宅との間にあり、トンネルのように気根が伸びる木の下をいつも歩いていました。

2020年12月、解体業者がアコウの木の枝を切り始めている所に遭遇。驚いて事情を尋ねると、県外に住む所有者が維持管理が困難でやむなく、同じ敷地にある空き家の解体と同時に木を切り倒すことにしたと知らされました。

なくなったら絶対に後悔する。不動産業者や解体業者に交渉を重ね、最終的に空き家を含む約730平方メートルの土地ごと購入してアコウの木を守りました。「この木は大浜の宝物の一つ。守れたことは、私の

山本二三美術館



五島市出身で数々の名作アニメーションを手掛けた作家、山本二三氏の絵画を展示。建物は1863年に建てられた武家屋敷「松園邸」。五島の風景を描いた「五島百景」を通じ、文化や自然を伝えていきます。

下崎山のヘトマト行事



下崎山地区に伝わる小正月行事。1月第3日曜日に、男衆が女性を乗せた大草履を担いだり、わら玉を激しく奪い合ったりして、子孫繁栄や豊漁豊作などを祈願。集落は独特の熱気に包まれます。国指定重要無形民俗文化財です。

人生で「一番の仕事」と話します。

木と一緒に思いがけず手に入れた空き家は築160年ほど。当初は何に使えるのか未知数で、不安でいっぱいでした。世界中を旅した経験を生かし、ゲストハウスとしての活用を模索。地元の人などの協力を得て、古民家の風情を残しつつ現代風にリノベーションし、4部屋・定員15人で一棟貸し切りができる「あこうハウス」を2023年6月にオープンしました。

宿泊客や地元の皆さんが集い、五島の自然や文化を楽しむ拠点に。そんな思いで、同市教育委員会で働きたながら、あこうハウスや英会話教室、マリナクティブティー事業の運営

営に汗を流しています。

オープンから2年。国内外から訪れるゲストは、サットンさんが守ったアコウの木を眺めながらゆったりとした時間を過ごします。最近では地元のイベントなどに活用されるようになりました。

今後は、五島の自然をより近くに感じられ、地元の人ともつながれるような体験事業を充実させていきたいと考えています。「五島にはアメリカ人のような『やってみようスピリット』を持っている人が多い。これを大事にして、みんなで五島を盛り上げたいね」。サットンさんの挑戦をアコウの木が見守っています。

表紙のコト

堂崎天主堂キリシタン資料館



観光ガイド団体「アクロス五島」の方々

1873年にキリシタン禁教が解かれ、堂崎地区には1880年に五島初の本造天主堂が建立されました。現在の赤レンガ造りの教会は1908年に完成し、日本二十六聖人に捧げられています。堂内は信仰の歴史をひもとく資料館としても一般公開されています。

歴史や文化、自然を感じるスポットを案内する「アクロス五島」の山口理事長は「冬も教会めぐりや2月、3月に開催される椿まつりなど見どころはいっぱい」と冬の五島観光の魅力を話してくれました。

ところ 五島市奥浦町2019

営業 9時～17時

※11月11日～3月20日は16時閉館

※夏休み期間中は18時閉館(8月13～15日を除く)

※12月30日～1月3日休館

☎ 0959-73-0705

地元の麦、芋にこだわる焼酎蔵



大賞を受けた「180mlアソートセット5A」は手土産や飲み比べに最適。スマートなデザインも魅力的です

五島列島酒造

焼酎原料の大麦・サツマイモは100%地元産。小さな蔵なので大量生産はできませんが「五島らしさ」にこだわっています。椿の花酵母の「五島椿」や、かんころ餅の原料にもなる甘い芋を使った「五島芋」などの焼酎詰め合わせは「長崎デザインアワード2023」の大賞を受賞しました。

ところ 五島市三井楽町濱ノ畔3158

☎ 0959-84-3300

※「180mlアソートセット5A」はJR長崎駅かもめ市場や五島つばき空港売店などでも販売

杜氏 谷川友和さん

銀色に輝く 五島列島の味「キビナゴ」



銀色に輝くしほ模様が美しいキビナゴ。水揚げ後、氷で締めて出荷されます

鯛福丸水産

五島列島は日本有数のキビナゴの産地です。産卵前で身が大きい5～6月と脂が乗る11～1月が旬。福江魚市場の仲卸業者、鯛福丸水産は主に島外に出荷。ふるさと納税の返礼品にも選ばれています。「キビナゴは鮮度が命、取れたてを刺身でいただくのは格別。来島して味わってみて」(同社の永田社長)

ところ 五島市上大津町183-1
(仲卸のみ。小売りはしていません)

☎ 0959-72-2586

※キビナゴの刺身や鍋料理「いりやき」は島内の飲食店で味わうことができます

社長 永田和也さん

地域のニューストピックを紹介

8基の浮体式洋上風車、1月稼働へ

五島市崎山沖に国内初の浮体式洋上風力発電施設の整備が進んでいます。来年1月の稼働に向け風車が試運転に入りました。8基の風車が全て稼働すると、一般家庭約1万4,400世帯分の電力をまかなえる計画です。完成すれば五島市の再生エネルギーの比率は、太陽光などと合わせ現在の60%から80%近くまで向上します。



本県に移住した先輩たちに聞きました！

先輩移住者に移住したきっかけや移住後の暮らしについて伺いました。また、長崎県移住支援公式ウェブサイト「ながさき移住ナビ」では、移住者の働き方やライフスタイルを紹介しています。移住者のさまざまな暮らしを見て、長崎県への移住を考えてみませんか。



いつかは地元に帰りたいと思い移住

桑岡 育さん 長崎市在住2年



広島県で造船関係の設計の仕事をしていた桑岡さん。いつかは地元に帰って暮らすイメージがあったそうで、当時、交際中で福岡県に住んでいたパートナーと一緒に、二人の地元の長崎市へUターンされました。

帰省のタイミングで参加した合同企業説明会をきっかけに『ながさき移住サポートセンター』を知り、気軽な気持ちで相談をスタート。移住にあたって「仕事探しが難しいのでは」と考えていたそうですが、センターのサポートにより、前職の経験を生かせる企業を見つけることができ転職されました。

「休日は趣味のヨットで海に出て、充実した時間を過ごしています。地元に帰ってきたことで落ち着いた気持ちで生活しています。今後は地域で面白そうなことを探して活動してみたいと思っています」と語ってくれました。

憧れの林業に携わるために移住

狩野 晃和さん 時津町在住2年4カ月



沖縄県で航空自衛隊の機械整備士として勤務していた狩野さん。父の勧めもあり、長崎県で林業の仕事をしたいと考え、地元の時津町へ移住されました。

現在は木材生産を行う会社に勤め、木の伐採や重機操作など、技術を身に付けるのに3年以上かかるといわれる難しい作業も「日々自分の成長を実感している」とやりがいを感じており、現在では現場責任者を任されるまでになったそうです。

プライベートでは約1年前に結婚され、学生時代からの地元の友人と魚釣りやペーロンを楽しんでいるほか、体を動かすことが好きでジムで体を鍛えるなど充実した日々を過ごされています。

「林業は必要とされる産業で、この仕事は未来がある」と目を輝かせて語ってくれました。

仕事と生活の両立を考えて移住

森下 祐樹さん 壱岐市在住4年8カ月



海外で教育のプロジェクトに長く携わっていた森下さん。帰国後の夫婦の暮らしや自身のキャリアについて考える中で、最も理想的な環境だった壱岐市へ移住を決めたそうです。

初めての島暮らしは不安も多くありましたが、地域の方々が温かく接してくださるので安心して新生活を始めることができ、移住後に生まれた子どもを育てる中で、子育てのしやすさも実感しているといいます。

現在は夫婦で会社を営み、海外の教育プロジェクトに継続して関わりながら、壱岐市の高校と地域をつなぐ取り組みも行っています。背中を押していただく周囲の方々の存在もあり、「まだまだできることがある」と前向きに日々過ごしているそうです。「これからは、島と海外をつなぐ役割など、新たな事業にも挑戦していきたい」と語ってくれました。

民泊体験を通し地域の温かさを実感して移住

重松 喜美代さん 西海市在住2年6カ月



沖縄県出身の重松さんは、ふるさと納税をきっかけに西海市に関心を持ち、民泊体験を通じて地域の温かさに触れ、移住を決意されました。看護師として地域医療に携わりながら、釣りや家庭菜園、旅行など、人とのつながりや自然を楽しむ日々を過ごされているそうです。

移住にあたっては、ながさき移住サポートセンターや県ナースセンターを通して、移住支援情報や看護の就業情報を得ることができたので、安心して新生活をスタートできたといいます。

地域の方々にも温かく迎えられ、訪問看護などを通じて「自分も役に立っている」と実感できることが、移住して良かったと感じる大きな理由の一つだそうです。「知らない土地での暮らしは、旅のような楽しさがある」と話す重松さんの姿は、移住の魅力を物語っています。

YouTube「ながさき移住ナビ公式チャンネル」でも、移住先としての県内各地の魅力や移住者のリアルな声を動画で紹介しています。



県政 特集

ふるさとへの長崎へ。長崎をふるさとに。 ～移住で始める新生活～



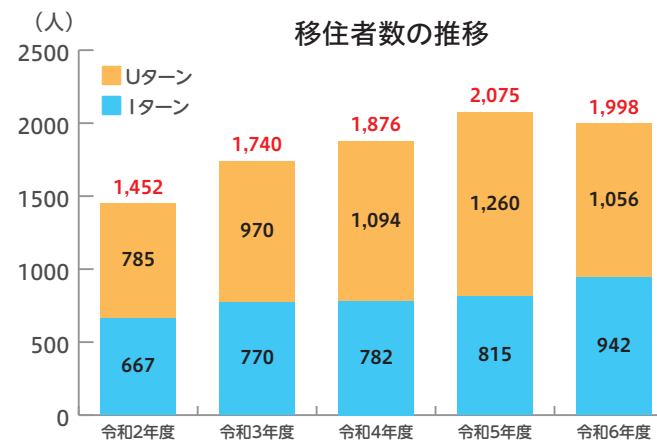
移住者と一緒に 地域を元気に

少子高齢化や若者を中心とした転出超過などにより、本県は全国でも早いスピードで人口減少が進んでいます。そこで県では、県内地域の活性化につなげるため、県外からの移住を促進しています。

これまでの移住促進の取り組みにより、結婚や子育てを機にふるさとへ移住する方をはじめ、自然豊かな環境への憧れや一次産業への転職を機に移住する方、都会を離れてセカンドキャリアに挑戦するミドルシニア世代など、幅広い層の方が本県へ移住しています。

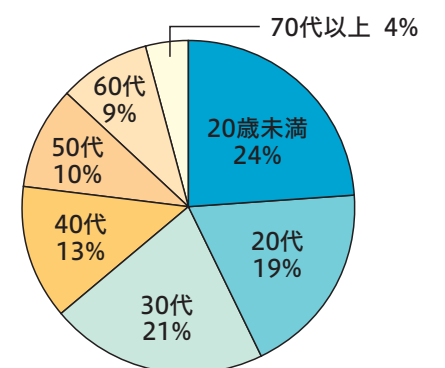
これらの動きにより、地域に多様な人材が集まり、地域産業の担い手確保やコミュニティの維持・活性化など、地域の新たな活力を生み出すきっかけになっています。

活力ある長崎県づくりのため、この特集の情報を県外へお住まいのご家族・ご友人へぜひお知らせください。ご協力よろしく願います。



※移住者数は県や市町の窓口を通して移住した人の数

令和6年度移住者(1,998人)の年齢層



就業・創業される方にさまざまな支援を行っています

長崎県での就業を支援

漁業・農業・林業・建設業などの各産業から教育・医療・福祉まで、幅広い業種の就業サイトを閲覧できます。



移住・創業・事業拡充への支援

東京圏など都市部から移住する方や地域課題の解決につながる事業などに取り組む方を支援しています。市町によってはこの他にもさまざまな支援を行っています。

移住支援

東京圏から長崎県への移住者に対し、1世帯当たり100万円を給付(単身の場合は60万円)
18歳未満の方と一緒に移住する場合は1人につき最大100万円加算(市町によって取り扱いが異なる場合があります)

対象 東京23区内に直近10年間のうち通算5年以上在住または通勤していた方など

要件 〇就職応援サイト「エヌナビキャリア」に掲載された企業へ就職した方

〇創業支援を活用して県内で創業する方

〇長崎県を生活の本拠とし、テレワークなどで従来の業務を引き続き行う方
※転勤や出向など、自己の意思によらないものは除く

〇移住前から移住先の地域と深い関わりがあった方のうち、地域に必要な業種への就業など、地域の担い手確保の要件に当てはまる方※各市町により要件が異なります

【地域と深い関わり方の例】

●移住先の出身あるいは居住したことがある方

●移住先へふるさと納税をしたことがある方など

【地域の担い手確保要件の例】

●農林水産業や家業への就業、地域の取り組みへの参加など



創業支援

創業に要する経費を最大200万円補助(補助率1/2)

対象 創業予定者(付加価値の高い産業分野での事業承継を含む)

要件 〇地域の課題解決につながる社会的事業
〇県内で実施する事業



有人国境離島法による創業・事業拡大支援

設備投資資金や人件費などの運転資金を最長5年間補助(補助率3/4)

対象 対馬、壱岐島、五島列島において新たな雇用を生む起業、創業、事業承継または事業拡大を行う方

<補助金の年間上限額>

〇創業 450万円

〇事業拡大 1,200万円



本県は、四季折々の豊かな自然に恵まれ、温かみのある県民性や国際交流の歴史、異国情緒溢れる街並みなど、多様な地域資源を有し、自然、人、歴史、文化が調和することで、独自の魅力を形成しています。こうした魅力を県内外に広く発信することで、多くの方々に本県を選んでいただき、本県への移住・定住の実現を支援していきたいと考えております。県民の皆さまのご協力をよろしくお願いします。



長崎県知事 大石賢吾

問合せ 県の地域づくり推進課 ☎ 095-895-2242

広報テレビ番組「みじかなナガサキ」(民放3局)でも今回の特集を12月に放送します。ぜひご覧ください。

移住のご相談は「ながさき移住サポートセンター」へ

県と県内21市町が共同で運営し、就職・転職や住まい探しなど、移住に関するさまざまなサポートを行っています。移住を検討している方はもちろん、ご家族やお知り合いの方もお気軽にご相談ください。

相談窓口

長崎本部

ところ 長崎市尾上町3-1

県庁4階

☎ 095-894-3581(直通)

受付時間 9時~17時(月~金曜)

※祝日、12/27~1/4を除く



←ウェブでのご相談はこちらから

東京窓口

ところ 東京都千代田区有楽町2-10-1

東京交通会館8階

(ふるさと回帰支援センター内)

☎ 080-7735-3852(直通)

受付時間 10時~18時(月曜休館)

※祝日、8/11~16、
12/27~1/5を除く

東京窓口での相談の様子▶



Q. 移住を考えているが、何から準備したらいいの?

「情報収集」と「相談」から! 移住関連イベントに参加したり、相談窓口で話を聞いてみることで、具体的なイメージが湧いてきます。まずは相談窓口へお問い合わせください!

Q. 移住先を決める前に、各地域の雰囲気を知ることができるの?

県外での移住関連イベントを実施しているほか、現地を訪問し、実際の暮らしを体感できる「お試し住宅」や「移住体験ツアー」を実施している市町もあります。

Q. 移住する際にどのような支援が受けられるの?

引っ越し料金やレンタカー料金の割引などの特典を受けることができる会員サービスのほか、移住支援金や各種補助金で皆さんの移住を支援しています。

総合ポータルサイト

長崎県移住支援公式HP

ながさき移住ナビ

おかえり長崎

ようこそ長崎

本県への移住に関心がある方を応援するウェブサイトです。仕事や住まい、暮らしに関することなど、移住に役立つ情報を発信しています。



SNSでも情報を発信していますよ。



LINE



Facebook



Instagram

ながさき移住倶楽部

登録
無料



会員登録すると、さまざまな特典やサービスを受けられます。登録はながさき移住ナビ公式LINEから簡単にできるほか、スマホでの会員証表示やコンテンツの利用が便利です。
※県外在住の方のみ登録可能

主な特典

- 〇引越料金20~30%オフ
- 〇レンタカー料金の割引
- 〇電気料金1年間5%オフ



障害のある人もない人も安心して暮らせる社会へ

県では、障害の有無にかかわらず、誰もが住み慣れた地域で共に支え合い、安心して暮らすことのできる「共生社会」の実現を目指し、さまざまな取り組みを推進しています。

不当な差別的取り扱いの禁止と合理的配慮の提供

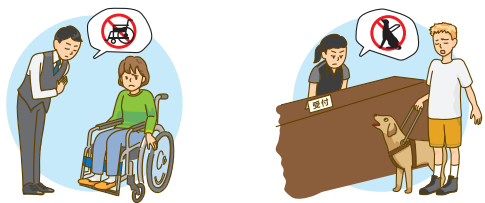
「障害のある人もない人も共に生きる平和な長崎県づくり条例」を制定し、行政機関や事業者をはじめ県民の皆さんに対し、障害のある人への障害を理由とする不当な差別的取り扱いを禁止し、障害のある人から申し出があった場合に合理的配慮の提供を求めることなどを通じて、「共生社会」の実現を目指しています。

不当な差別的取り扱い

特別な事情なしに障害を理由として拒んだり、制限したり、条件を付けてはいけません

例 車いす利用者の入店拒否

補助犬利用者の入場拒否



合理的配慮の提供

障害のある人の求めがあった時は過度な負担にならない範囲で配慮が必要です

例

筆談対応

段差のある箇所の通行補助



◎障害のある人に対する差別に関する相談窓口

障害を理由に差別を受けたと感じた方、自分の行為が差別に当たるか不安な方は一人で悩まずご相談ください。障害のある人をはじめ、家族、支援担当者、学校・職場の人、友人など、どなたでも相談できます。

とき 月曜～金曜 9時～17時(祝日・年末年始を除く)

☎ 095-895-2450(県の障害福祉課内) FAX 095-823-5082

お問い合わせ
フォーム→



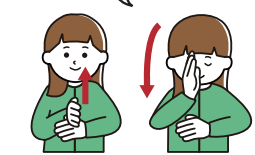
聞こえる人も聞こえない人も共に生きるために

手話を必要とする方を含む全ての県民が、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生することのできる地域社会の実現を目指して「長崎県手話言語条例」を制定し、手話通訳者の養成や手話言語の啓発などを通じて、聴覚障害のある方への理解促進に取り組んでいます。

手話を覚えよう！

よろしくお願いします

ありがとう



- ①右手のこぶしを鼻にあてる。
(「よい」を表現)
- ②手を開き頭を下げながら手を前に出す。(「お願い」を表現)

- ①左手の甲に右手を乗せて上に上げる。
- ②頭はおじぎをするように軽く下げる。

手話以外のコミュニケーション

筆談

ノートやメモ帳などに文章を書きながら会話しましょう。短く分かりやすい文章を書くように心掛けましょう。

身振り

身振り(ジェスチャー)で伝えることも手段の一つです。こちらが伝えたいことを表現してみましょう。

口話

口の動きを読み取ってもらえるように、はっきり口を動かしながらゆっくり会話をしましょう。



株式会社山口Farm (五島市)

代表取締役

やま ぐち しん た ろう

山口 伸太郎さん



「農業はカッコよくて面白い」 五島牛の繁殖・肥育・販売を一貫経営

家業の農業が大嫌いだったと振り返る山口さん。自分のミスで子牛を死なせてしまったことをきっかけに、子牛を手塩に育てる中で畜産業に没頭しました。ブランド牛「五島牛」の知名度や流通を拡大しようと、自ら牛を育て、販路を広げる一貫経営をスタート。さらに地元・山内地区に精肉店を、五島の市街地にレストランを開業。五島牛を活気づける取り組みが注目を集めています。

父が牛の繁殖、祖父母が施設園芸を営む兼業農家で育ちました。小学生の頃から牛の世話などを手伝われ、次第に農業が嫌いになりました。父の希望で諫早市の県立農業大学校に進みましたが、卒業後はトラック運転手として働きました。

転機は27歳の時。父の意向でUターンし、J Aごとうに就職しましたが、父が病を患い島外に入院したため、渋々兼業で農業に携わることになりました。

初めてお産に立ち会い子牛が産まれた夜、父の「子牛が初乳を飲むところを確認しておけよ」とのアドバイスを忘れ寝入ってしまい、子牛を死なせてしまいました。この大きな喪失感と後悔から、精魂込めて子牛を育てようと決意。日々、試行錯誤しながら育てた結果、子牛が競りで高い評価を受け、育てる面白さを実感しました。2017年にJ Aを退職して就農。4年後に「山口Farm」を立ち上げました。

五島牛の流通量が少ない一因は、離島は生産コスト

が高く、個人の肥育農家が育ちにくいことにあるといわれています。そこで、繁殖・肥育・販売の一貫経営に挑戦しようと、2024年から肥育に参入。繁殖牛53頭に加え、肥育牛30頭も育てています。

今年4月には、五島市街地に五島の旬な山海の幸が味わえるレストラン「Restaurant城-JO-」を、7月には、牛舎近くに精肉店「やまぐちファームのお肉屋さん」を開業。子どもから大人まで気軽に集まれる場所にしたい、地元を盛り上げたいという思いを込めて、精肉店にはバーベキュー場とスケートボード場を併設しました。

子どもの頃は「農業はダサい、カッコ悪い、汚い」と思っていました。しかし、息子たちは私たち夫婦が奮闘する姿を見て、誇りに思ってくれており、牛の世話も積極的に手伝ってくれます。五島牛の流通量を増やすためには仲間が必要です。将来を見据え、子どもや若者たちに農業のやりがいを伝えていきたいです。



山口伸太郎さん・美穂さん夫妻が営む「やまぐちファームのお肉屋さん」



精肉店に併設されたスケートボード場で遊ぶ子どもたち

ながさき レシビ

長崎県の
おいしい食材を
使ったヘルシーな
料理を紹介します

今月の食材 ブリ

成長の段階によって呼び名が変わる出世魚。栄養価が高く、たんぱく質や脂肪、ビタミンが多く含まれています。特に、冬は「寒鰯」と呼ばれ、最も脂がのっておいしい時期とされています。



作ってくれたのは
料理人
さかもと よういち
坂本 洋一さん

料理コンテスト上位入賞のほか、長崎マイスターや優れた技能者長崎県知事表彰など受賞歴多数。テレビ番組や料理教室、学校の授業などで食の大切さや料理の楽しさを伝えているほか、子ども食堂など地域活動にも取り組む。

五島市の特産品ブリを使ったご飯が進むメニュー

ブリの中華風



※写真は2人分

材料

2人分

【下味調味料】◎しょうゆ 大さじ2 ◎砂糖 小さじ1/2 ◎うま味調味料 小さじ1/2
◎塩コショウ 少々 ◎おろしニンニク 少々 ◎おろしショウガ 少々 ◎卵 1個 ◎片栗粉 小さじ1
◎ブリの切り身 2枚 ◎レタス 1/3玉 ◎白ネギ 30g ◎タマネギ 10g
◎赤ピーマン(赤パプリカでも可) 5g ◎ピーマン 5g

【調味料】◎しょうゆ 大さじ1 ◎酢 大さじ1 ◎砂糖 大さじ2 ◎水 大さじ1 ◎ゴマ油 小さじ1

作り方

- ①【下味調味料】を混ぜ合わせておく。
- ②ブリを食べやすい大きさに切り、①の【下味調味料】に30分程度漬け、下味を付ける。
- ③レタスは千切りにし、水洗いしてざるに取り水気を切る。
- ④白ネギ、タマネギ、赤ピーマン、ピーマン
- ⑤【調味料】を混ぜ合わせ④を加える。
- ⑥②のブリを170度の油で2～3分程度揚げる。
- ⑦器に③のレタスと⑥のブリを盛り付け、⑤をかける。

ポイント | サバやアジなど、お好みの魚でもおいしく作れます。



福祉・医療・子育ての情報発信

ココロパスポートはお持ちですか？

県公式LINEから
発行申請ができます

中学校入学前の子どもがいる家庭が対象で、ココロパスポートを提示すると、県内約2,600の協賛店(ながさき子育て応援の店)でさまざまなサービスが受けられます。



便利なサービス・お得なサービス

すまいるサービス

例 ミルクのお湯提供、授乳室完備など

とくとくサービス

例 料金5%OFF、ワンドリンクサービスなど



多子世帯サービス

例 18歳未満のお子さま3人以上でプレゼントや割引など



※写真はイメージです

問合せ 県の子ども未来課 ☎095-895-2685

ココロパスポート

マイナビ ツール・ド・九州2025 佐世保クリテリウム

ニーゼロニーゴ

県政 トピックス



テープカット



スタートをきる選手たち



急カーブを曲がる選手たち



ゴールする瞬間



漫画「弱虫ペダル」原作者 渡辺航氏らによるトークショー



にぎわうイベント会場

10月10日、国際サイクルロードレース「マイナビ ツール・ド・九州2025佐世保クリテリウム」が本県で初めて開催されました。佐世保市の「させば五番街」周辺のコース沿道では、世界トップクラスのスピードと技術を駆使して疾走する選手に、国内外から集まった観客から熱い声援が送られました。また、大会当日から翌日にかけて、著名人によるトークショーやバーチャルサイクリング体験などのアトラクションが実施されたほか、県内の観光・物産を紹介するブースなどが出店され、イベント会場は多くの来場者でにぎわいました。

問合せ 県のスポーツ振興課 ☎095-895-2781 マイナビ ツール・ド・九州2025佐世保クリテリウム

長崎歴史文化博物館が開館20周年



長崎歴史文化博物館は2005年11月3日に、かつて長崎奉行所が置かれていた長崎市立山に開館しました。奉行所の復元展示をはじめ、長崎の海外交流の歴史や近代の歩みなどを多角的に紹介する常設展示を行うほか、国内外の一流の芸術文化に触れる企画展や長崎の歴史を深く掘り下げる企画展、多様な展覧会を開催するなど、長崎の歴史と文化を伝える博物館として親しまれています。

今年、開館20周年という節目を迎え、11月3日には記念式典と、県民の皆さんに常設展示を無料で公開する「県民無料デー」も実施し、多くの来館者をお迎えすることができました。

来年1月からは研究の集大成として「開館20周年記念特別展 長崎遊学」を開催します。江戸時代、知識と情報を求めて日本各地から長崎へやってきた遊学者たちに注目し、彼らが体験した風景や出会った人々、学んだ学問や芸術を紹介します。多くの遊学者たちを迎え入れた学びの地・長崎と「長崎遊学」の姿をぜひ会場でご覧ください。

問合せ 県の文化振興・世界遺産課 ☎095-895-2768



開館20周年記念式典



長崎港之図(部分) 長崎歴史文化博物館収蔵

ご意見をお寄せください！
－パブリックコメント－

県民の皆さんのご意見を県政へ反映するため、県の重要な施策の立案や計画の策定にあたり、案の段階でご意見を募集しています。

◎今後の実施予定

計画などの名称	意見募集時期
第5期大村湾 環境保全・活性化 行動計画	12月上旬から
第5次長崎県犯罪 のない安全・安心 まちづくり行動計画	12月中旬から
第5次長崎県 消費者基本計画	12月中旬から
長崎県耐震 改修促進計画	12月中旬から
第3期長崎県 ギャンブル等依存症 対策推進計画	12月中旬から
長崎県半島振興計画	12月中旬から
ながさき産業振興 プラン2030	1月下旬から

※ウェブサイトを実施予定や結果を掲載しています

問合せ 県の県民センター
☎095-894-3441

長崎県 パブリックコメント

自治医科大学(栃木県)
医学部の入学者募集

卒業後、離島やへき地などで働く医師を養成しています。入学者には入学金や授業料などの学費が全額貸与され、一定期間、県内指定の離島の病院などに勤務すれば返還が免除されます。

1次試験／1月26日(月)、27日(火)
申込／1月5日(月)～21日(水)
※20日(火)までの消印有効



問合せ 県の医療人材対策室
☎095-895-2421

長崎県 自治医科大学

県営住宅の入居者募集

募集住宅の申込書類などを1月9日(金)から県住宅供給公社の本社および各地区事務所、県庁、各振興局(長崎・県北・県央)などで配布します。18歳以上であれば単身での申し込みも可能です。

申込期間／
郵送受付:1月9日(金)～19日(月)
窓口受付:1月23日(金)～26日(月)
※申し込みは原則郵送(消印有効)
申し込み多数の場合は抽選

問合せ
県住宅供給公社 ☎095-823-3050
佐世保事務所 ☎0956-22-9612
諫早事務所 ☎0957-26-9053
大村事務所 ☎0957-52-6825

長崎県住宅課

募 集

奨学金の返済を支援します

将来の地域産業を担う若者の皆さんを支援するため、大学などを卒業後、県内就職を予定している方を対象に、支援候補者を募集しています。

対 象／令和9年4月に就職予定で
対象奨学金を受給している
大学生など
支援額／対象奨学金返済額の2分の1以内(上限150万円)
申込／2月16日(月)まで

※対象業種の県内企業に一定期間就業する必要があります。詳しくは、ウェブサイトをご覧ください

問合せ 県の未来人材課
☎095-895-2732

長崎県 奨学金返済アシスト

県政モニター募集中！
WEBアンケートに協力して
QUOカードPayをもらおう

県民の皆さんの声を県政に反映させるため、県が実施するアンケートにインターネットでお答えいただく「県政モニター」を募集しています。回答状況に応じてQUOカードPayを進呈します。

応募資格／県内在住の15歳以上の方
※中学生を除く
募集人数／350名程度
任 期／令和8年4月～
令和10年3月
申込／2月15日(日)まで

※詳しくは、ウェブサイトをご覧ください

問合せ 県の県民センター
☎095-894-3441

長崎県 県政アンケート

長崎県版！妊活のヒント
「栄養」と「パートナーとの
関わり方」
無料

不妊治療の基礎知識に加え、妊活・不妊治療における栄養、食生活の工夫や、パートナーと共に取り組むためのコミュニケーションの工夫・ヒントをお伝えします。

と き／12月21日(日)13時～14時
ところ／オンライン(Zoom)
対 象／どなたでも
申込／12月21日(日)まで

問合せ 県のこども家庭課
☎095-895-2443

長崎県 妊活セミナー

長崎県オンライン就職フェア
無料

今後成長が期待される魅力ある県内企業から説明会形式で各社の特徴などを聞くことができます。長崎県での就職・転職を希望する県外にお住まいのご家族やご友人へぜひご紹介ください。

対 象／県内企業への就職をご希望の方(県内在住の方も可)
※学生や保護者も参加可能

と き／①11月29日(土) ②1月24日(土)
※いずれも10時～15時30分

ところ／オンライン(Zoom)
申込／①11月28日(金)まで
②1月23日(金)まで

問合せ
長崎県オンライン就職フェア運営事務局
(リクルーティング・パートナーズ(株))
☎0120-946-059

長崎県オンライン就職フェア

日本創生に向けた人口戦略
フォーラムinながさき
無料

さまざまな分野のキーパーソンが県内外から集まり、未来の地域デザインについて意見を交わします。「若者・女性にも選ばれる地方」について一緒に考えてみませんか。

と き／12月21日(日)
13時～17時30分
ところ／出島メッセ長崎
(長崎市尾上町)
内 容／エキシビション(龍踊)、
パネルディスカッションなど
申込／12月19日(金)まで

※詳しくは、ウェブサイトをご覧ください

問合せ 県の政策企画課
☎095-895-2037

長崎県 人口戦略フォーラム

佐世保青少年の天地イベント

①冬のクラフトルーム
クリスマスやお正月のリース、
小さな置物を作りませんか。
と き／12月7日(日)、
14日(日)、
21日(日)
いずれも13時～17時

対 象／どなたでも
参加費／1人250円
※当日参加もできますが、事前申し込みを推奨しています

②親子体験教室「もちつき」
親子や仲間と楽しく餅つきをして、
おいしくいただきます。
と き／12月27日(土)
9時15分～14時

対 象／家族・グループ
定 員／50名
参加費／1人200円
※餅持ち帰り1袋700円

申込／12月18日(木)まで

問合せ 佐世保青少年の天地
☎0956-23-9616

佐世保青少年の天地

情報
ひろば
暮らしに役立つ情報をお伝えします

催しもの

オンライン就農相談会
無料

専門的就農相談員へ就農についてオンラインで相談することができます。

と き／
【第1回】1月13日(火)～16日(金)
【第2回】2月24日(火)～27日(金)

対 象／県内で新しく農業を始めることに関心がある方

申込／
【第1回】1月6日(火)まで
【第2回】2月16日(月)まで

問合せ 長崎県新規就農相談センター
☎0957-25-0031

長崎県新規就農相談センター

そば打ち体験
～十割そばに挑戦～

そば粉から手打ちでそばを作り、みんないただきます。

と き／12月21日(日)
10時～13時

ところ／西彼青年の家(西海市西海町)

対 象／どなたでも

料 金／1人500円

申込／12月14日(日)まで

問合せ 西彼青年の家
☎0959-32-1337

西彼青年の家

読者プレゼント

ちゃんこ 五島銘菓 治安孝行(3種詰め合わせ)

粒あんをもちもちの求肥で包み、きな粉をまぶしたお菓子です。食べると口いっぱいに豊かな風味が広がります。きな粉、うぐいすきな粉、黒胡麻黒豆きな粉、それぞれの風味の違いを楽しみながら、ご賞味ください。



30名様

問合せ 有限会社 観光ビルはたなか ☎0959-72-3346

応募方法

①クイズの答え ②郵便番号 ③住所 ④氏名 ⑤年齢
⑥電話番号 ⑦右記県民アンケートへの回答を必ずご記入の上、次のあて先までご応募ください。
※個人情報は商品の発送のみに使用します

●ハガキ 〒850-8570 (住所不要)
長崎県広報課「つたえる県ながさき」係

●県のウェブサイトから

●締切 令和7年12月末日(消印有効)

なお、当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。
※11月号のクイズの答えは「ながさき」でした



応募はこちら

新たな「ポケふた」が県内5市町に登場!

“ながさき未来応援ポケモン”のデンリュウが描かれた、世界に1つだけのオリジナルデザインのマンホール蓋「ポケふた」が株式会社ポケモンより島原市、壱岐市、時津町、東彼杵町、佐々町に寄贈されました!

県内では令和8年2月28日(土)まで、「ポケふた」や観光スポットを巡るデジタルスタンプラリー「#ながさき照らす旅2」を開催中です!この機会に現地を巡ってみませんか?



「ポケふた」の設置場所
#ながさき照らす旅2

問合せ 県のながさきPR戦略課 ☎095-895-2026

編集後記

昨年長崎にUターンした知人は、長崎の住みやすさや人の温かさ、食のおいしさに惹かれて戻ってきたと語っていました。年末年始に帰省する友人にもこの特集の内容を紹介し、長崎県に移住する魅力を伝えたいです。長崎県の魅力が広まって、ふるさと長崎に戻ってくる方、長崎をふるさとにしてくれる方がどんどん増えると嬉しいです!!

県民アンケート

県の重要な施策や取り組みを分かりやすく説明する「県政特集」ページを設けています。皆さんのご意見をお聞かせください。抽選でプレゼントを差し上げます。

問1

内容は分かりやすいですか?

- ① 分かりやすい ② まあまあ分かりやすい
③ 少し分かりにくい ④ 分かりにくい

問2

県外にいるご家族・知人にとって、どんな情報があると安心して移住を検討できると思いますか?(複数選択可)

- ① 地域の魅力(自然環境、文化、伝統など)
② 住まい(不動産業者、空き家バンクなど)
③ 移住者の声(移住体験談など)
④ 支援制度(相談窓口や各種特典、支援金制度など)
⑤ 子育て・教育情報(保育施設や学校の情報など)
⑥ 仕事(求人情報、就職支援など)

問3

その他、取り上げてほしいテーマや感想を記入してください。

回答:【問1】から【問2】は番号を、【問3】は具体的に記入してください。

クイズ 「○」に入る文字(ひらがな)は?

「○○○○移住サポートセンター」では、就職・転職や住まい探しなど、移住に関するさまざまなサポートを行っています。

訪問購入のトラブルに注意!

「不用品を引き取る」と電話があり、来訪を承諾したところ、来訪した業者に「貴金属はあるか」などとしつこく聞かれ、貴金属を強引に買い取られてしまったというトラブルが増えています。

◎トラブルに遭わないために

- 購入業者から電話がかかってくるても安易に訪問を承諾しない
- 突然訪問してきた購入業者は家に入れない

年末年始などに帰省する際は、ご家族がトラブルに巻き込まれていないか声をかけてみてください。

相談窓口/消費者ホットライン ☎188(いやや)

問合せ 県の消費生活センター ☎095-824-0999

「愛の福祉基金」にご協力をお願いします

公共施設などに「愛の基金箱」を設置し寄付を募っています。寄付金は障害のある方のスポーツ、文化・芸術活動の振興やさまざまな障害福祉事業に活用しています。募金や基金箱の設置にご協力をお願いします。
※基金箱への寄付のほか、一般寄付を受け付けています。本基金への寄付は全額非課税対象です。



問合せ 県の障害福祉課 ☎095-895-2453

交通事故相談

無料

損害賠償や示談の進め方など、交通事故でお困りの方からの相談を受け付けています。

①電話・来所相談

相談窓口/交通事故相談所 県庁(長崎市尾上町)内
相談時間/月～金曜 9時～16時 ※12時～13時、祝日、年末年始を除く

②巡回相談

県内各地で毎月開催しています。

とき	ところ
12月11日(木)	県北振興局(佐世保市木場田町)
12月23日(火)	大村市役所(大村市玖島)
12月25日(木)	島原市役所(島原市上の町)

※時間はいずれも10時～15時
※来所相談、巡回相談は相談日の2日前(土日、祝日を除く)までに電話予約してください

問合せ 県の交通事故相談所 ☎095-895-2342

年末の交通安全県民運動 ～飲む前に車じゃないよね?再確認～

一人一人が交通ルールを守り、交通マナーを高めて、交通事故に遭わないよう、起こさないように注意しましょう。

期 間/12月15日(月)～24日(水)

◎重点

- 飲酒運転などの悪質危険な運転の根絶
- 歩行者の安全な道路横断方法の実践と反射材の着用促進
- 高齢運転者の交通事故防止

問合せ 県の交通・地域安全課 ☎095-895-2341

お知らせ

「年末ジャンボ宝くじ」の購入は県内で!

1等、前後賞合わせて10億円!「年末ジャンボ宝くじ」が発売されます。県内で購入された宝くじの収益金は、さまざまな事業を通じて県民の皆さんのために役立てられています。県内各地の対面売場のほか、宝くじ公式サイトからも購入できます。

発売期間/11月21日(金)～12月23日(火)

価 格/1枚300円
抽せん日/12月31日(水)



問合せ 県の財政課 ☎095-895-2171

お歳暮には県産品を!

「長崎が推す逸品を全国へ。」長崎県公式オンラインストア「ながおしセレクト」を楽天市場内にオープンしました。オープンを記念して、来年3月までお得なキャンペーンを実施しています。12月中にYahoo!ショッピング店もオープン予定です。一年の感謝を伝えるお歳暮に、地元の魅力が詰まった県産品を贈りましょう。

【長崎県公式】
ながおしセレクト



問合せ 県の物産ブランド推進課 ☎095-895-2623